

日新事業グループ 代表取締役 古渡周五郎氏 VS 政治評論家 細川隆一郎氏

産業廃棄物処理に大きな貢献

画期的な高熱処理の焼却炉を完成

日新コーポレーション(株)、日新開発(株)、日新エステート(株)、日本環境保全(株)などの六社で構成する「日新事業グループ」は大型開発不動産業を柱に、地域社会に大きな実績と貢献を果たしている。現在、大きな社会問題となっている産業廃棄物処理に対応し高熱処理の「焼却灰溶融炉」を完成させ、実験炉としての段階ではあるが、先行きは各地方自治体にも活用させたいと意欲を燃やす同グループの総帥、代表取締役・古渡周五郎氏に現況を伺ってみる。



現在、多くの社会問題となっている産業廃棄物処理に大きな貢献を果たしている「日新事業グループ」の総帥である古渡周五郎取締役社長

二十五歳で独立 工務店を開業

細川 日新事業グループは大型開発、不動産業など幅広い分野の事業を展開されて、地域社会の活性化に大きな貢献を果たしていると伺っておりますが、きょうはそのグループの総帥である古渡さんに、現況とこれからの展開をいろいろとお聞きたいと思えます。

古渡 私どもグループは日新コーポレーション(株)、日新開発(株)、N&Lコーポレーション(株)、日新エステート(株)、日本環境保全(株)と、だいたい五、六社で構成されています。まあ、いふなれば、建設業から始まり、不動産業、そして、これにかかわる関連の開発に携わってまいりました。細川 なるほど。御社の企業概

要を拝見しますと、日新コーポレーションは、不動産の売買、仲介、賃貸及び管理、ゴルフ場などのレクリエーション施設の経営となかなか多岐にわたった事業を展開されておられますな。古渡さんは本来こうした不動産業界のご出身ですか？

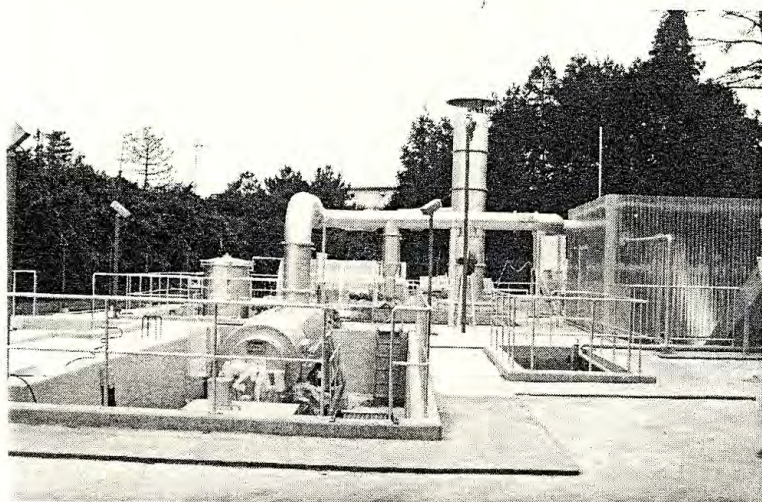
古渡 実は私は茨城県土浦市の出身で、先代は宮大工として神社仏閣の建築を手がけ、その先代は寺の住職だったそうです。

で、私の父はやはり建築業で、高校を出てから、すでに父の跡を継ぎましたが、どうしても自分としては、新しい事業を起こしたいという「夢」がありまして、二十五歳の時に独立し、自分で工務店を開きました。

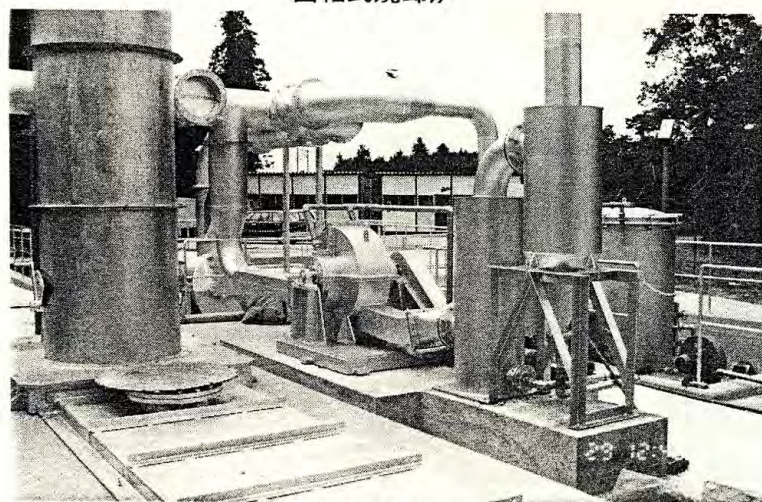
細川 二十五歳で独立され、そして今日の日新事業グループの基礎づくりをされたわけですね。

古渡 まあ、工務店からスタートしまして、やっているうちに結果的に開発事業を手がけるようになりまして、ゴルフ場の開発にも携わっております。

細川 ゴルフ場建設グループの時期には、さぞかし忙しかったのでは



回転式焼却炉



排煙処理装置と排ガス装置



細川隆一郎氏

「単に廃棄物を焼却するだけでなく、溶解したものを加工してリサイクルできる“一石二鳥”の効果を上げることができるわけですね。地方自治体でも、廃棄物処理に悩んでいるのだから、こうした画期的な高熱処理機能を発揮する焼却炉のニーズが高まるのではないですか」

ありませんか？

古渡 それが一時はよかったのですが、ご存知のようにバブルがはじけてから、三カ所とも休止状態になっております（笑）。で、昭和六十二年頃にゴルフ場はあと二、三年でダメになる、これからは住宅地の開発だということで、つくば市内の住宅団地の開発の受付を二つ取りまして、団地づくりをめざしたわけです。

ところが、大手ゼネコンと契約していざ取り組もうとしたところ、結果的には大きな社会問題となった汚職問題が起こり、それを契機に大手デベロッパーとの契約がストップする状態になりました。

細川 清水建設とかハザマ、鹿島建設と、大手ゼネコンは政官界との癒着から大きな社会問題となり、現在もマスコミから注目されておりますね？

土地開発部門から 新しい分野へ展開

古渡 本来ならば、私どもの事業は官庁関係の仕事ではなく、民間でやる仕事ですから、そうしたゼネコン問題とは関係がないのですが、相手としてはそうもいかない、ということ、せっかく進んでいた事業計

画もストップし、その苦労はいまも引きずっておりますので…（笑）。

細川 古渡さんのことですから、開発事業があまり期待できないと決心されたら、さらに新しい分野に取り組まれておられるのではありませんか？

古渡 実は冒頭にグループの構成を申し上げましたが、その中に「日本環境保全株」というものがあります。この会社は私が会長で、代表ではありませんが、ここではいろいろな分野の技術者を集めまして、住宅団地から出るゴミを処理できないものかと研究開発をしまして、結果的には、今までにないような画期的な焼却炉を実験的ながら完成することができました。

細川 ほう、団地から出るゴミを処理する目的で研究された焼却炉ですか？ 具体的には今までの焼却炉とどのような違いがあるのですか？

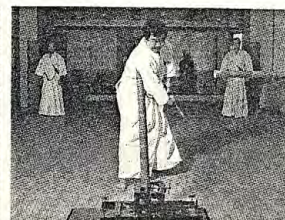
古渡 これは大手総合研究所の主任研究員が私どものコンサルタントをしていまして、住宅団地から出るゴミは外へ持ち出さないで処理する方法が提案されています。

他社でも、いろいろと高熱に対応できる焼却炉をつくっていますが、私どもに匹敵するのは大手一社ぐら

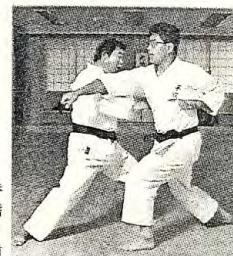


よい仕事をするには、身も心も鍛えねばなりません。→

未来へのびてゆく企業の力は、ひとりひとりの暖かいふれあいから生まれる、活気ある意欲が造りだすものです。そのためには、社員のみならず、家族全員の幸せをみつめていなくてはなりません。人と人とのふれあいから和が生まれ、暖かい雰囲気醸成されていきます。日新事業グループでは、より豊かな、ゆとりのある生活を送ってもらうために、各種サークル等へのバックアップ、施設制度を完備しています。



真剣を使い、青竹・巻わらを一刀両断
-----抜刀道



近隣の少年少女も参加して、週2回の稽古をしています。
-----空手道・剣道

心身鍛練武道場平成館
〈本社ビル2F〉



祭り大好き大集合 / 太鼓好きの同好会
-----日新太鼓連



本社ビル1F文化交流ホールで行なわれる華道サークル



春と秋の年2回、心待ちにしている社内旅行

創造性を大切に、
より人間的に。

いかと思いますが、大規模な構造です。それから団地内での設置は無理だと思っています。ともかくコンパクトで、二千度以上の高熱を簡単に出来ること、大きな特徴といえます。

ですから、今までの焼却炉というのは、産業廃棄物のゴムとか化学合成品を燃やすと、大気中に有害ガスを出すとか、いろいろと公害問題となります。しかし私どもの完成した焼却炉は二千度以上の高熱処理ですから完全燃焼させて、そうした公害も起きないということです。

細川 いま、産業廃棄物の処理問題がクローズアップされている時代ですから、そうした公害が出ない完全燃焼できる焼却炉が完成されたことは、まさに画期的なことといえますね。こうした高熱が出せる焼却炉をつくらうとした発想の原点はなんですか？

画期的な高熱処理炉を完成させて

古渡 細川先生もご存知のように建築関係の仕事をしていますと、建築材料の廃材がたくさん出るのです。これを処理するためには、産業廃棄物処理業者に依頼しなければなりません。そうすると、廃棄物一トン当

たり何万円もかかり、建築業者としても大変な負担になるわけです。それと大切なのは、最終処分場が無くなっているということです。

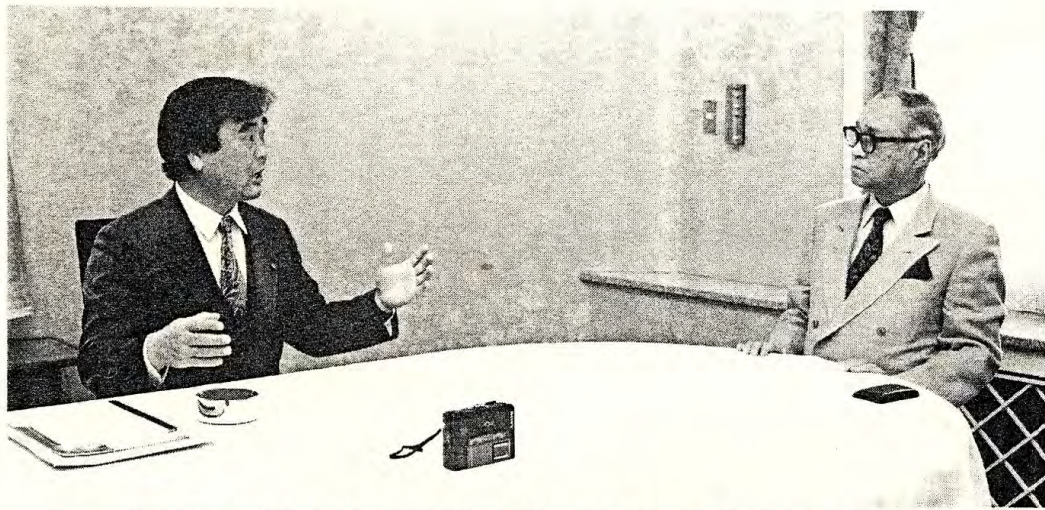
細川 なるほど……

古渡 であれば、コスト的にも安く簡単に焼却できるものを取り組んだのが、そもそもの研究開発の始まりでした。

先ほども申しましたように、ゴルフ場の造成とか住宅関係の事業の時代ではないということで、新しい事業展開として今までにないような完全な焼却炉の積極的な研究開発を始め、今回、実験的ながら完成させることができた、ということでした。

細川 何事にも新しいものを開発するには、いろいろな苦労があったと思いますが、その辺はいかがですか？

古渡 日本国内だけでなく韓国、中国、ドイツなどの海外諸国にも、産業廃棄物処理の「技術」をいろいろと調査し、また研究資料を集めたりしました。ともかく、こうした実験的に研究しながら開発するということは、理屈ではなく、実際にやってみないとわからないことがたくさんありますし、まだまだこれから改良の余地はあります。



細川隆一郎氏（右）と対談中の日新事業グループの古渡社長（左）

パッキングやネジ一つにしても、技術的には可能と思っても、実際にやってみないと可能かどうかかわからないことがたくさんあり、世界特許の「技術」を結集させて、やっと出上来がったという段階です。

細川 なるほどね。積極的に取り組むという「姿勢」がなければ、新しいものはつくれませんからね。一つの信念というか、社会のために貢献できるものをつくらうというものが…。

古渡 私は世間から「馬鹿」だといわれてもいいと…。ともかくブロック、ブロックでつくれるものをつくらうという考えで、その接点としては、まず最初に建築とか、産業廃棄物の処理に困っている業者が燃やすための「焼却炉」をつくらうと…。

ですから高熱処理できるもので、公害防止にも役立つものという考えで取り組みました。

細川 二千度以上の高熱ですから、鉄でもガラスでも完全に溶解してしまえますから、産業廃棄物処理にはもってこいの「新鋭炉」といえますね？

焼却後のスラッジは建築分野の骨材に

古渡 産業廃棄物には鉄、ガラス、ゴム、合板と、いろいろなものが混入されていますが二千度以上の高熱ですと、すべて溶解させてどろどろに溶けた「湯」が流れてくる工程の中で急激に冷却しますと、スラッジ

の状態になります。こうしてできたスラッジも建築分野で骨材として活用したり、あるいは海洋資源保護のため海中へ投入して漁業分野にも活用できるということで、いろいろな用途もあるということです。

細川 なるほど…。単に廃棄物を焼却するだけではなく、焼け残ったというか、溶解したものを加工して、リサイクルもできるという「一石二鳥」の効果を上げることができるわけだ…。

古渡 そうです。目下のところは、そうしてできたスラッジは骨材か、あるいは道路舗装用の資材として大いに活用できますし、行政当局からこうしたスラッジを一般建築業者へ販売してもいいという「お墨付き」をもらっております。

細川 そうですか。地方自治体でも産業廃棄物処理に悩んでおりますから、こうした画期的な高熱機能を発揮する焼却炉のニーズが高まるのではありませんか？

古渡 先行きには地方自治体にも大いに活用できよう販売路線を拡大しようと考えておりますが、現在はまだ「実験炉」の状態ですと、改良をさらに加えて、完全なものにして市場に出そうと思っております。早

く大々的に展開されることが望ましいですな…。

古渡 私はこの「焼却灰溶融炉」が、これからの事業展開の大きな一つの柱にするべく取り組んでおりますが、やはり完全なものにして世の中に送り出したいと…。

それがダメになったら、私どもの会社はダメになると…（笑）。そうした信念で意欲を燃やしております。

細川 さて、最後に日新事業グループの総帥として、これからの展開というか、企業理念の一部をお聞きたいと思えます。

古渡 未来へと伸びてゆく企業力は、一人ひとりの暖かいふれあいから生まれ、活気ある意欲が作り出すものです。

そのためには、社員のみならず、家族全員の幸せをみつめていかななくてはなりません。人と人とのふれあいから和が生まれ、それが日新事業グループの大きな原動力になるような心がけ、創造性豊かな人間の育成に力を注いで行こうと思っております。

細川 そうですか。今後とも地域社会に根ざしたフロンティア精神を発揮され、世のため人のために日新事業グループの一層のご活躍を期待しております。

NEW LEADERS

新人物論

特別記事

本音と建前の裏を見
抜く洞察力と信頼感

対談
特集

経営の
心を聞く

1

内閣総理大臣 細川 護熙氏

1994

提言 ■ 信頼無くして協調無し！

本誌主幹 竹村 信夫 1

● 不況時代のリーダーとなるための条件①

4

対談特集

経営の心を聞く

プリント・カーペットでモダン・アートの世界を創造する

ミリケン・ジャパン(株) 代表取締役 田村 一郎 6

産業廃棄物処理に画期的な高熱処理の「焼却灰熔融炉」

日新事業グループ(株) 代表取締役 古渡 周五郎 10

天然ゼオライトを応用した「呼吸性壁面材」を開発

新東北化学工業(株) 代表取締役社長 佐藤 徹雄 14

“魔法の指” “指球儀” “ペア” で震伝磁器治療の健康づくり

コスマ商事(株) 代表取締役 古沼 利幸 18

“宇宙エネルギー” の注入装置「シャトル」で健康づくり

(株)サマーデイ 代表取締役 伝承美容医学開発協会会長 小橋 規實男 22

わが国初の「セルフクリーニングショップ」で生活環境を向上

(株)フロンティア 代表取締役 金野 基隆 26

〈対談特集のホスト〉

順不同・敬称略



大信田礼子



栗栖弘臣



宮尾すすむ



細川隆一郎



細川隆元



マッハ文朱



小山明子



中村三緒



岡崎友紀



麻生良方

〈現代日本を考える〉行く末に不安を招く家庭教育の低下

宗教法人庚申会 代表役員
龍神 総宮社 祭主

辻本源治郎

30

自体験を生かしたソフトづくりで業界を活性化

(株)システムイデア 代表取締役

城澤 喜朝

32

「智・仁・勇」の三つを揃えた「精密測定器」一筋に

(株)ミットヨ 代表取締役会長

沼田 智秀

35

天然食物繊維「海寿藻」で健康づくりを

(株)トラス 代表取締役副社長

栗原 睦裕

38

“二毛作型”の新業態店「PACONTO」

(株)プレス 代表取締役社長

本名 正二

41

「信用第一」旗印に国際的な住宅環境づくり

(株)ケン・コーポレーション 代表取締役

田中 健介

44

阿武隈山系の名水“田舎の清水”を全国的に普及

(株)宇佐見興産 専務取締役

宇佐見 鐵雄

47

新型浄水器と暖房付き足マッサージ器を開発

(有)スズキ製作所 代表取締役

鈴木 文夫

50

東京ラーメンの名店「直久」のノレンを守って日に千万食

(株)直久 代表取締役社長

土橋 栄一

53

(続) はやる商売／はやらない商売

56

表紙の顔

ほそかわ もりひろ
細川 護熙 (55歳)

内閣総理大臣。日本新党代表。熊本県知事。
大蔵政務次官。上智大学卒。



順不同・敬称略

対談ホストインタビュー紹介

医事評論家
アナウンサー
建築家
女優
弁護士
女優

杉 靖三郎
押 坂 忍
黒川 紀章
岡田茉莉子
円山 雅也
高見 知佳

ご注意

過去に当社が原情報を著作した新聞・雑誌等の記事は、画面上の閲覧のみが可能です。これら記事は過去に公開されたものですが、現状で利用するには著作権等が発生する場合があります。利用をご検討の方は当社にご相談願います。

日本環境保全株式会社